

事業主の皆様へ ひとりでも労働者を雇ったら、労働保険に入る義務があります

広島労働局総務部労働保険徴収課 ☎082-221-9246

労働災害の治療には病院で健康保険証が使えません。労災保険未加入の場合、保険料を遡って徴収するほか、労災保険給付に要した費用の40%も100%が事業主負担となることもあります。

■正社員はもとより、パート、アルバイト、臨時を含めて労働者を1人でも雇用している事業主は、労働保険（労災・雇用）に加入する義務があります。（ただし、雇用保険は週所定労働時間20時間以上かつ31日以上雇用見込みがある場合に加入となります）

■労働保険料は、最寄りの金融機関等での納付、又は口座振替による納付となります。

■お問い合わせ先
広島労働局総務部労働保険徴収課
http://hiroshima-roundoukyoku.jp/site.html
☎082-221-9246

広島市中区上八丁堀6-30
☎082-221-9246

各労働基準監督署
各ハローワーク（公共職業安定所）
広島県社会保険労務士会
（一社）全国労働保険事務組合連合会広島支部
各労働保険事務組合
へお気軽にご相談ください。



市長コラム

第97回

「神楽定期公演・神楽東京公演・神楽甲子園の成果について」

本市は合併後の12年間で人口が約4,700人減少しています。このまま放置すると自治体としての存続が危ぶまれる事は必至です。概ね10年間で3,900人が減少し、向原町と同規模の人口が減少したことになります。今後、市政の安定化に向けて、人口減少対策が最重要課題であり、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、平成36年の本市の人口は26,326人となり、平成27年と比較して3,350人減少すると推定されています。平成27年に策定した市の総合計画では、人口減少に歯止めをかけ、10年後の推計値より1,200人多く27,500人とする目標を掲げています。この高い目標達成には、教育・産業・福祉医療の分野や企業誘致等、多様な行政施策が必要であります。

人口減少対策として、定住人口を増加させるには、市の知名度を全国的に向上させ、市の関心度を高める事が必要不可欠であります。

幸い本市には、誇りうる資源が沢山あり、瞬時に観光客を魅了させる伝統文化「神楽」があります。私が市長就任以来、市を全国に印象付ける手段として「神楽」に纏わる3事業を実施しています。

①関係者と協働して、観光客を定期的に受け入れる定期公演の実施(湯治村に於いて年間150日の定期公演)し、観光客やリピーターの増加など定着させています。

②神楽を全国に発信する「神楽東京公演の実施し、5回を数える大変人気の高い公演となり毎年楽しみにしておりますファンがおります。

③全国の高校生による「神楽甲子園」を湯治村に於いて実施し、6回目となる今年度の大会は、全国青森県から宮崎県までの神楽を愛する15校の高校生が湯治村に集結する魅力ある大会となりました。昨年度から文化奨励として広島県知事賞を授与しています。

事業の展開に当たっては、未来創造事業(広島県・寄付金(JR等民間団体)の協力・支援を受けるなど、充実し成果も上がってきています。神楽関係者を含む多くの市民の皆様もモチベーションが向上し、生きがいの創出に繋がっています。また、東京神楽公演・神楽甲子園事業の推進により、NHK等マスコミで報道され、インターネット等による市の検索が多くなるなど、市の知名度が全国的に高まり、Uターン・企業誘致・通販事業の展開が容易になってきています。さらには、湯治村等主要施設の利用者は、県内はもとより県外・国外からの観光客が増加しています。市を訪れる観光客は平成23年の125万人から平成27年に170万人になり、5年間で45万人増加しました。神楽公演を契機に、広島圏・東京都圏在住の市出身者やゆかりのある方々が結束し「ふるさと応援の会」も結成されました。

今後の課題として、①神楽を国・県文化として認知して頂くことにより、後継者育成の面で大学進学支援や国・県の財政支援を受けやすい体制づくり②神楽文化の魅力、集客力を民間活力に生かしてもらえようPR活動と支援のお願い③神楽衣装・道具を含めて伝統文化に必要な衣装や道具全般を扱う企業の興し④広島圏、東京都圏のみならず、近畿圏等に神楽文化を広める啓発活動などが必要と考えています。

市の活性化に向け、市を全国的にアピールする必要があり、「神楽事業の展開によりその効果が徐々に出てきています。全国からのインターネットによる市の検索状況では、昔前の「毛利元就」での検索から、今日では「神楽」で検索される方が多く見られます。神楽事業による観光客の増加と連動して、企業誘致・Uターン・特産品販売の促進に繋がっていくことが大切だと思います。そして、中山間地と都市との差を縮める「高速通信網・光ファイバー」の活用が、人口減少対策に効果的であると確信しています。

着任のご挨拶

本年4月より安芸高田市地域おこし協力隊に採用いただき、協力をさせていただきます。住まわっていた甲田町下小原地区では、徐々に声をかけてもらえるようになっており、9月21日には地元の川本神社の祭りにも参加しました。祭りの「神楽」を初観望でき、少しずつ地域を学んでいる状態です。

一方、安芸高田市全域では、ほとんど挨拶できておらず、知られていない状況です。そこでこの場を借り、ここに辿り着いた神秘的エピソードも絡め、挨拶と代えさせていただきます。私の趣味の一つに、温泉湯上りビルを愉しむ旅行があります。その道中では、有名神社を参拝してから向かうようにしています。採用前の昨年12月19日に泊2日愛媛県道後温泉に行ってきました。その日は、前住所の広島県福山市

地域おこし協力隊員リレーコラム vol.15

みやぎしあきら 宮岸章さん（産業振興部農林水産課）



からしまなみ海道を通り、大三島にある大山祇(オオヤマヅミ)神社を参拝しました。祭神は「大山祇神」で、日本全国の山の総元締として知られています。ちなみに着任前、山の資源である木を燃料にするバイオマス事業を推進していただき、その事業繁栄を祈願した結果、『地域おこし協力隊「木の駅プロジェクト」』の募集情報が入ってきたものと感じています。

さて着任後の4月に吉田町の清神社を訪れ、縁の「スサノオ」と「イナダヒメ」の神名を見て、神秘的な気分になりました。『大山祇神の父親は「イザナキ」でスサノオの父親は「スサノオの父親」と同一人物です。ね？』『大山祇神の孫はイナダヒメです。ね？』『安芸高田市の何か深い縁を勝手に感じております。『大山祇神がでる神楽演目はありますか？』機会があれば、教えてください。

減らそう犯罪 還付金詐欺にご注意を!



市内で高齢者を対象として、保険の還付金があります等と電話がかかり、ATMで振り込み手続きをさせ現金をだまし取る詐欺が発生しています。

今年は、8月末までは、市内において特殊詐欺被害は発生しておりませんでした。残念ながら、9月中旬に、ついに被害が発生しました。

広島県内では、8月末現在で145件5億5200万円

安芸高田警察署交通ミニコーナー H28.9未現在
●平成28年交通事故発生状況(年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	平成28年	平成27年	前年同期比増減数
人身事故	76件	77件	△1件
死者数	3人	3人	0人
負傷者数	115人	104人	11人

○管内交通事故の特徴
・正面衝突 1件
・追突事故 4件 でした

の被害が発生しております。

あなたにも詐欺電話や悪質業者が迫ってくる可能性があります。

日ごろから、不審電話などがあれば直ぐにお金を支払うことなく、まずは相談することを心がけておきましょう。



運転中は、車間距離を十分にとり、前方左右に対する注視を怠らず時間と心にゆとりを持って交通事故防止に努めましょう。

★薄暮時と夜間の交通事故防止

・運転者は、「早めのライト点灯と上向きライトの活用」で歩行者や障害物の早期発見と回避に心がけましょう。
・歩行者は、「反射材の着装LEDライト」などを携行し、外出するようにしましょう。

広島県交通安全年間スローガン

「こぼんば 早めのライトで ごあいさつ」

★平成28年広島県交通安全スローガン

「なくそう交通死亡事故・アンダー90」

～皆様のご協力をお願いいたします～

